

議会のあり方調査特別委員会・広聴検討分科会記録	
開 会 年 月 日	平成30年 7 月 6 日
開 会 時 刻	午前10時46分
閉 会 時 刻	午前11時13分
出 席 委 員 名	◎宿 典泰      ○上村 和生      井村 貴志      野崎 隆太 野口 佳子      吉岡 勝裕      黒木騎代春      山本 正一 中山 裕司
欠 席 委 員 名	—
署 名 者	—
担 当 書 記	山口 徹
審 査 案 件	1 皇學館大学生との広聴活動について ・ 高校生議会 ・ 議会体験ツアー（意見交換会） 2 その他
説 明 者	議会事務局調査係長山口、調査係野村主事

## 会議の概要

宿分科会長が開会を宣言し、直ちに会議に入り「皇學館大学生との広聴活動について」を議題とし、協議した内容は、次のとおりでした。

## 協議の内容

### 1 皇學館大学生との広聴活動について

#### ・高校生議会

前回6月13日の当分科会において、昨年に引き続き皇學館大学生と協働で協議しながら、広聴活動の充実を図っていくことが確認され、新たな広聴活動の一例として「高校生議会」の実施提案があり、大学生にそのコーディネーター役を担ってもらうことを正副会長に一任されていた。

その後、6月21日に正副会長と事務局担当者の3名で大学へ出向き、広聴活動継続のお願いに併せ高校生議会（仮称）実施の相談をしてきたところ、大学側としては、昨年に引き続きCLL活動「みんなの声を聞くには？プロジェクト」が継続されるとのことで、コーディネーター役として高校生議会の実施についても、前向きに取り組むたいと回答があったことが報告された。

高校生議会の実施については、開催日程、市内の高校への開催案内、参加してもらう学生の募集、開催内容など調整、検討すべき課題があり、大学生にコーディネーター役を担ってもらうといっても全てを任せるわけではなく、今後、議会（当分科会）として大学側と相談しながら進める必要があることを確認した。

また、正副分科会長の方で市教育委員会に市内の高校への依頼方法等を相談している旨の報告もあった。

#### ・議会体験ツアー（意見交換会）

6月21日に大学生側と今後の相談を行った際、学生から議会体験ツアー（仮称）の提案があり、内容については市議会の傍聴に来て議会の仕事環境を実際に見て、広聴検討分科会委員と意見交換の場を持てればという提案があった。

本件については、当分科会としても、若い世代との広聴活動を充実させるためには必要であるとの意見があり、今後新たな広聴活動の一つとして、具体的な話ができるようであれば協議していくこととなった。

### 2 その他

・議会報告会の新たな手法等について、副会長から9月の決算議会終了後、土日、夜間等、市民の方に来ていただきやすい日時を考慮して、リニューアルされた委員会室で開催してはどうかと提案があり、今後、開催できるよう高校生議会実施の件と並行して協議していくこととなった。

上記署名する

平成30年7月6日

分科会長